## 夕闇のなく頃に

黒騎士06

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト http://pdfnovels.net/

## 注意事項

は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ 囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範 テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。 この小説の著作権は小説の作者にあります。 このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ 小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。 そのため、作者また

【小説タイトル】 夕闇のなく頃に

**V** コー ド】 N5300Z

【作者名】

黒騎士06

校生がやってきて・ 中学2年生の僕は普通の生活に飽き飽きしていた。

そんな時、

転

【あらすじ】

## 第一章 前編

第一章 おぼろ月 前編

「な、なんだここは・・・海?」

ここは夢 しく照りつける中、 く中、 誰かの泣き声が聞こえてきた。 の中なのだろうか、 俺は砂浜に立っていた。 ひどく穏やかな気分だ。 夕日が水平線に沈んで 空の満月が寂

「誰か居るのか!」

ポツリ・・・と当たってきた。 が濡れていて肌が少し痒い。そして頭の上になにかがポツリ・ 降ろすと手は真っ赤に染まっていた。 るとなぜか嫌な感触がした、その手をゆっくり・ 返事はなく泣き声だけが延々と響き渡ってくる。 雨だろうか、 ふと頭の上に手を当て 制服のスラッ ゆっくり・ クス

ぎゃああああああああああり!!!」

滲み出ていた。 る光が目障りで仕方ない。 るリモコンを手に取りテレビの電源を入れた。 ングへと向かった。 その瞬間、 テレビ画面の左上には【5: 僕は夢から目覚めた。 目覚まし時計が虚しく鳴っている。 リビングには誰もいなかっためコタツの上にあ 僕はベットから静かに降りて二階のリビ 17】と表示されていた。 体が鉛のように重く汗が体中から 窓から入ってく

後編へ続く

## PDF小説ネット発足にあたって

ビ対応 行し、 など 公開できるように 小説家になろうの子サイ 部を除きインター 最近では横書きの F小説ネッ の縦書き小説 の縦書き小説 います。 そん をイ を思う存分、 たのがこ な中、 ネッ 書籍も誕生しており、 タテ書き小説ネッ ト関連= 誰もが簡単にPDF形式 ネッ て誕生しました。 ト上で配布す 小説ネッ 横書きという考えが定着しよ てください。 トです。 既 は 2 0 存書籍 の タ いう目的の基 07年、 の電子出版 小説を作成 小説が流 ンター

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。 http://ncode.syosetu.com/n5300z/

夕闇のなく頃に

2011年12月17日22時47分発行